

# 第2学年 国語科 学習指導案

日 時 2025年6月25日(水)  
第5校時 13:30~14:20  
対 象 第2学年B組 40名  
会 場 3階 2年B組教室

## 1 単元名

人間のきずな 「聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す」……『国語2』光村図書

## 2 単元の目標

- ・ オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを意識して質問の内容を考えることができる。
- ・ 「話すこと・聞くこと」において、話の構成や展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、明確で具体的な質問することができる。
- ・ インタビューの内容を振り返り、よりよいインタビューを行うために意見を聞きながら自分の考えをまとめることができる。
- ・ 学習の意義、目的を理解して積極的に表現を工夫して学習活動に取り組もうとする。
- ・ 話し手が話す内容に応じて、聞きながら生まれた疑問や感想を組み入れながら質問をしようとする。

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを意識して質問の内容を考えている。	① 「話すこと・聞くこと」において、話の構成や展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、明確で具体的な質問をしている。 ② 「話すこと・聞くこと」において、インタビューの内容を振り返り、よりよいインタビューを行うために意見を聞きながら自分の考えをまとめている。	① 学習の意義、目的を理解して積極的に表現を工夫して学習活動に取り組もうとしている。 ② 話し手が話す内容に応じて、聞きながら生まれた疑問や感想を組み入れながら質問をしようとしている。

#### 4 単元指導計画（全3時間扱い）

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インタビューの方法を理解する。</li> <li>○ オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを意識して質問の内容を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の目標を確認する。</li> <li>・ インタビューの動画を見せ、インタビューをするときに気をつけなければならない点を考える。</li> <li>・ 第2時に実際にインタビューを行うことを確認し、4人グループで順番や役割を決める。(話し手2人、聞き手、聴衆を順番に行う。)</li> <li>・ 一人一人、第2時に向けて質問を考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【テーマ】</b></p> <p>最近ハマっていること 好きな給食メニュー 好きな〇〇 ちょっと自慢したいこと</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問を予想し、回答を考える。</li> </ul>	ア-①【プリント】
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 的確なインタビューで相手の思いや考えを引き出す質問を考える。</li> <li>○ グループごとに質問の内容を振り返り、修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1時の内容を基にインタビューを行う。</li> <li>・ 動画を見ながら質問の内容を振り返り、グループごとに修正をする。</li> </ul>	イ-① 【インタビュー・観察・動画】 ウ-① 【インタビュー・観察・動画】
3	○ 修正したものを確認し、再びインタビューを行う。振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修正内容を確認し、質問内容の修正を行う。</li> <li>・ 再びインタビューを行う。</li> <li>・ 第2時と比較し、振り返りを行う。</li> </ul>	イ-②【プリント】 ウ-② 【インタビュー・観察・動画】

#### 5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）



##### ・4人班での班活動の設定

生徒一人一人に役割をもたせ、活発に意見を出しあう環境をつくるために、学習活動は基本的に4人班で行う。4人班で「聞き手」「話し手」「カメラマン」「聴衆」と役割を与えることで、聞くだけ、見ているだけの立場から抜け出し、自ら働きかける主体的な姿勢が生まれる。また、役割ごとに異なる視点で活動に関わることで、多角的に物事を捉える力を養うことができる。

##### ・ICTの効果的な活用

タブレット端末を活用して動画を撮影し、その動画を参考にしながら他の生徒の意見を聞く。撮影した動画を見ながら、他の生徒と一緒に振り返ることで、相互理解・対話・改善に向けた関係性が育ち、協働的な学びにつながる。

聞き手自身も客観的にインタビューの内容を確認する。カメラで記録したものを見返すことで、「もっとこう言えばよかったです」「聞き方が浅かった」など自分の表現や関わり方を客観的に振り返ることができる。

## 6 本時の指導（全3時間中の2時間目）

### （1）本時の目標

- ・的確なインタビューで相手の思いや考えを引き出す質問を考える。
- ・グループごとに質問の内容を振り返り、修正する。

### （2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□プリントを配布する。</li> <li>□「的確なインタビュー」とはどのようなものか考えさせる。</li> </ul>
	今日の目標：的確なインタビューで相手の思いや考えを引き出そう。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の内容を確認し、本時の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□質問で相手の思いや考えを引き出すという目的を確認する。</li> </ul>
展開 38分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に決定した役割や順番を確認する。</li> <li>◎グループごとに役割を交代しながら、一人2分30秒でインタビューを行う。 (2分30秒×4人+予備=14分)</li> <li>○一人一人自分の質問内容を振り返る。</li> <li>◎動画を見ながら、グループごとに修正内容を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□聞き手が質問したことに対して話し手が答えるよう助言する。</li> <li>□タイムキーパーは教師が務める。</li> <li>□聞き手は、一問一答で終わらせらず、相手の話を受けてさらなる質問をするよう助言する。</li> <li>□動画を撮る際は、いつも以上に丁寧にやり取りをするように伝える。</li> <li>◆イー①【インタビュー・観察・動画】</li> <li>□修正のポイントは、「より相手の思いや考えを引き出す内容にするためにはどのようなことが必要であるか」ということである。</li> </ul>
まとめ 7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次時の内容の確認を行う。</li> <li>○インタビューの内容を通して、振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□次時は、本時に考えた修正の内容を踏まえて、反映させながらインタビューをするということを確認する。</li> <li>□インタビューを振り返り、気づきや質問のコツなどをプリントにまとめさせたあと、グループで発表の時間を設ける。</li> <li>◆ウー①【インタビュー・観察・動画】</li> </ul>